

〔フェンプロパトリン乳剤〕

農林水産省登録 第17113号

性 状：淡黄色澄明可乳化油状液体

毒 性：劇 物

危 険 物：第4類第2石油類 III

有効年限：5 年

包 装：500 ml×20 本

# ロ デ ィ ー® 乳 剤

有効成分：フェンプロパトリン ……………10.0%

殺虫剤分類 3A



「住友化学農業ガイド」の見方：i-農力サイトの「製品情報」、「農業ガイドを見る」から、「農業ガイドの見方」をご覧ください。  
本剤の最新情報：こちらの2次元バーコードを読み取るとi-農力サイトに掲載されている本剤の最新情報がご覧になります。

## 〔適用と使用方法〕

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10アール当り 使用液量	使用時期*	総使用回数*
茶	チャトゲコナジラミ	1000倍	—	挿し木前	1回
	チャノミドリヒメヨコバイ チャノコカクモンハマキ チャノキイロアザミウマ チャノホソガ チャトゲコナジラミ	1000~2000倍	200~400ℓ	摘採7日前 まで	
	チャハマキ ヨモギエダシヤク ツマグロアオカスミカメ	1000倍			
もも	アブラムシ類 シンクイムシ類 モモハモグリガ アカエグリバ アケビコノハ オオエグリバ ヒメエグリバ カメムシ類	1000~2000倍	200~700ℓ	前日	本 剤：5回 フェンプロパトリン ：10回 (#1)
マンゴー	チャノキイロアザミウマ	1000倍		14日前	本 剤：2回 フェンプロパトリン ：7回 (#2)
かんきつ	ミカンハモグリガ チャノキイロアザミウマ カメムシ類 アブラムシ類 ケシクスイ類 ミカンハダニ コアオハナムグリ ミドリヒメヨコバイ シャクトリムシ類 ハマキムシ類 カネタタキ ケムシ類 アケビコノハ、ヒメエグリバ	2000倍	100~300ℓ	7日前	本 剤：4回 フェンプロパトリン ：9回 (#3)
ししとう	ハダニ類	1000~2000倍		前日	3回
ピーマン	アブラムシ類 ハダニ類				
いちご					
すいか				4回	

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10アール当り 使用液量	使用時期*	総使用回数*
なす	アブラムシ類 ハダニ類	1000~2000 倍	100~300 ℓ	前日	5回
	オンシツコナジラミ				3回
トマト	アブラムシ類				5回
きゅうり	アブラムシ類 オンシツコナジラミ ハダニ類				4回
	メロン				アブラムシ類 ハダニ類
かぼちゃ	アブラムシ類				7日前
あずき	ハダニ類	1000 倍	—	6回	
花き類・ 観葉植物	アブラムシ類 ハダニ類				

#1：噴射は5回、散布は5回 使用方法：散布（ただし、茶の挿し木前は3分間挿し穂浸漬）

#2：噴射は5回、散布は2回

#3：噴射は5回、散布及びくん煙は合計4回

### 効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきる。
- ボルドー液と混用する場合は使用直前に混合する。
- ミカンハダニに対する残効は短い傾向があるので留意する。
- ハダニ類は薬剤抵抗性が発達しやすいので、本剤の連続使用はさけ、作用性の異なる他の殺ダニ剤と輪番で使用する。また、本剤の年間使用回数もできるだけ少なくするよう努める。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用する。  
なお、普及指導センター、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

### 安全使用上の注意

- 蚕に長期間毒性があるので、散布された薬剤が飛散し、桑に付着するおそれのある場所では使用しない。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意する。
  - ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにする。
  - 受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさける。
  - 関係機関（都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努める。
- 医薬用外劇物。取扱いには十分注意する。  
誤って飲み込んだ場合には吐かせないで、直ちに医師の手当を受けさせる。  
本剤使用中に身体に異常を感じた場合には、直ちに医師の手当を受ける。
- 原液は眼に対して刺激性があるので、散布液調製時には保護眼鏡を着用して薬剤が眼に入らないよう注意する。  
眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。

(2023年3月14日現在の内容) 住友化学の農業支援サイト:i 農力<https://www.i-nouryoku.com/>

- 原液は皮ふに対して刺激性があるので、散布液調製時には不浸透性手袋を着用して薬剤が皮ふに付着しないよう注意する。  
付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とす。
- 本剤はのど、鼻、皮ふなどを刺激する場合、また、かゆみを生じる場合があるので注意する。
- 散布の際は防護マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用する。  
また散布液を吸い込んだり浴びたりしないよう注意し、作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをする。
- 摘果等の作業の際は、農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用する。
- 本剤による中毒の治療法としては、動物実験でメトカルバモール製剤の投与が有効であると報告されている。
- 水産動植物（魚類）に強い影響を及ぼすおそれがあるので、河川、湖沼及び海域等に飛散、流入しないよう注意して使用する。  
養殖池周辺での使用はさける。
- 水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用する。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきる。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さない。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。
- 浸漬後の薬液は、河川等に流さず、水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。
- 危険物第四類第二石油類に属するので火気には十分注意する。
- 直射日光をさけ鍵のかかるなるべく低温な場所に密栓して保管する。

「[農業ガイドの見方](https://www.i-nouryoku.com/prod/search/) (<https://www.i-nouryoku.com/prod/search/> [農業ガイドの見方.pdf](#))」の「3. 注意事項：(1)、(2)、(3)、(4) - G」も合わせてお読み下さい。

## 〔品目特性〕

- 合成ピレスロイド系殺虫剤です。
- ハダニ類にも効果があります。